知的特別支援学校高等部における一般事業所就労を目指す生徒の勤労観を深める指導の展開
── 作業学習や校内実習における「評価表」の工夫を通して ──

特別支援教育班　　三島　貴之（特別支援学校教諭）

1　主題設定の理由

＜現状＞
一般事業所に就労し、働き続けることが難しい

＜理由＞
社会経済情勢の厳しさ ／ 職場への不適応（人間関係、仕事内容、仕事への意欲、コミュニケーション力不足etc）

＜職場から望まれること＞
仕事に誠実、前向きであること ／ 円滑なコミュニケーションが取れること（あいさつ、連絡、報告etc）

実現するために

「評価表」の作成と活用

勤労観を深める

生徒自身の気づき／改善する力を高める

2　実践の概要

勤労観を深めるための・・・

「評価表」の活用

GPDCAサイクルの考え

作業学習
校内実習
現場実習

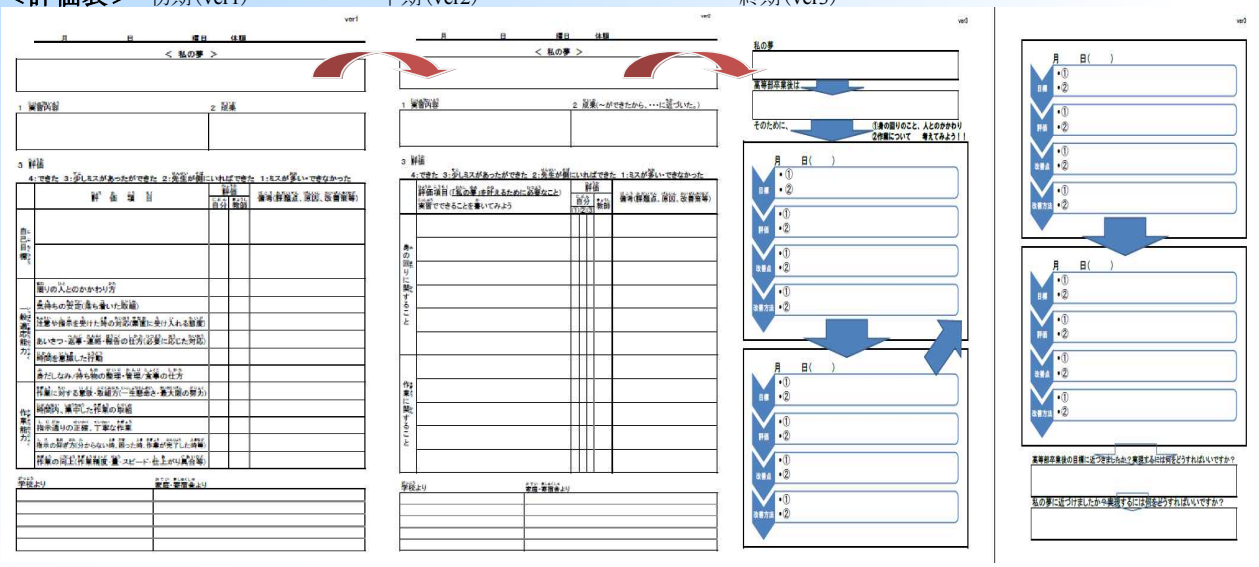
体験・実践

生徒・教師の相互理解

対話・確認

Goal（夢や目標） → Plan（計画） → Do（実践） → Check（評価） → Action（評価（改善）の活用）

＜評価表＞　初期（ver1）　中期（ver2）　終期（ver3）



＊生徒の変容に応じてステップアップしていく

3　成果と課題　　○；成果　●；課題

○「評価表」を活用することで、
・自分の目標を設定し、成果と課題に気づき、次の目標を設定できるようになってきた。
・教師と生徒が対話をし、生徒と教師が一般事業所就労という同じ目標をもち、同じ評価基準で評価をすることで、生徒の自己評価と教師が行う評価とのズレが少なくなってきた。

●評価表「ver1」を現場実習でも活用できるよう、その時々の一般事業所の働くことに係わるニーズを理解した上で、評価表の内容や項目、書式を変更していくことが必要である。

●勤労観をより深めていくためには、普段の学校生活、家庭生活、幼い頃からの積み重ね等、家庭と連携した継続的な関わりが重要である。